

女性協議会第45回定期大会

ハラスメント撲滅へ取り組みを

民放労連女性協議会第四

五回定期大会が10月6日

(土)に東京・全理連ビル

で行われ、北海道から九州

まで各地連・単組・本部か

ら合計一四名が参加しまし

た。

前半は、ジャーナリスト

で和光大学教授でいらっし

やる竹信三恵子さんに「マ

スメディアのセクハラと働

き方改革」と題して講演を

していたいただきました。まず、

「そもそも女性活躍の前提

に、女性の労働権が守られ

ているのかどうか」という

ご指摘のもと、出産後に契

約社員になってしまうケー

スなどのご紹介がありまし

た。

また、テレビ朝日女性社

員と財務省次官との間で起

きたセクハラを念頭に、直

接雇用関係のない“間柄で

のセクハラ認定について、

ILOが進めている条約づ

くりと、それに反して遅れ

ている日本の法整備につい

てもお話しいただきましたし

た。課題の重さとともに、

私たちがなお一層発信して

いかなければいけない問題

点についても考えさせられ

るものでした。

後半は各単組・各地連か

らの報告でした。子育て休

暇が小三から小六までに拡

大された、看護休暇が小六

から中三までに拡大され

た、といった、嬉しい報告

も相次ぎました。一方で、女性社員の採用がない、中堅社員がいけないといった問題が一層深刻であることがわかりました。

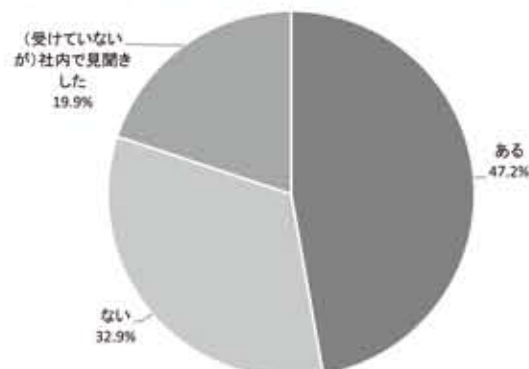
最後に、女性協議会から、MICで行ったセクハラアンケートについて報告し、今後、女性協議会でもセクハラに関するアンケートを実施したいと提案させていただきました。また、定期大会の参加者を増やすためにも、毎年一〇〇人規模の参加者がいる「女性のつどい」の開催日に定期大会を行うことについても提案させていただきました。

日頃弱い立場に置かれがちな女性同士の横のつながりを大事にし、女性問題について考え、見直しを求めていけるよう、今後も様々な取り組みを考えていきたいと思っております。

メディアにおける セクハラの実態は—?② MIC セクシャル・ハラスメント Web アンケート

前号では、セクハラを受けたことがある女性の割合を掲載したが、今号では回答者全体の割合をみる。女性限定ではなく、回答者全体でも約半数の人がセクハラを受けたことが「ある」と答えていることがわかる。

あなたはセクハラを受けたことがありますか



(回答者の性別割合は男性45.3%、女性54.4%、その他0.2%となっている)

前号に引き続き、日本マスコミ文化応報労組会議(MIC)女性連絡会で行った、セクシャル・ハラスメントに関するウェブアンケート調査の結果を紹介する。今号では、「セクハラを受けたことがある」と回答した回答者全体について、被害内容などの集計結果の一部を紹介する。

セクハラ被害の後どのように感じたか

※母数はセクハラを受けたことがあると回答した202人

セクハラを受ければ、性別に関係なく「とても不快」で「相手に憤り」を感じるという回答が圧倒的に多い。次に女性は「なかったことにして忘れよう」と思い、男性は「仕事に行きたくなくなった」と感じている。

また受けた被害の種類によって、どのように感じるかは人によって異なる。

被害にあったあと、どのように感じたか	人	%
とても不快に感じた	166	82.1
相手への憤りを感じた	114	56.4
なかったことにして忘れようとした	57	28.2
仕事に行きたくなくなった	45	22.2
自己嫌悪に陥った	44	21.8
体調が悪くなった(不眠など)	21	10.4
人と話すのが怖くなった	14	6.9
死にたいほど憂うつになった	13	6.4
その他	20	9.9
わからない	2	1.0
無回答	4	2.0

セクハラ被害のワースト5

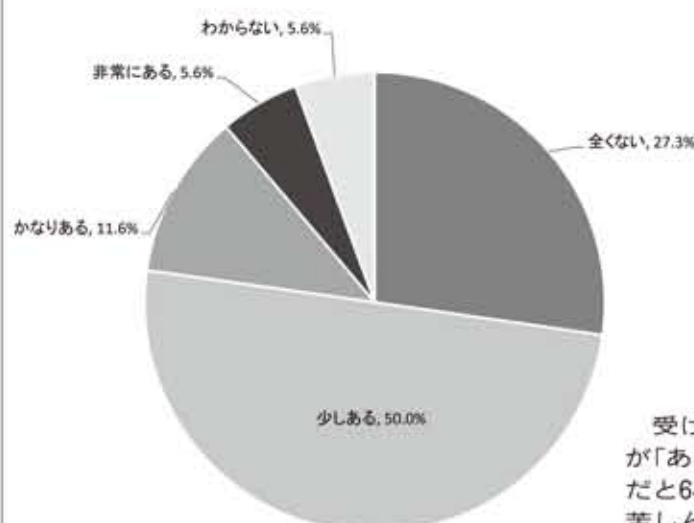
※母数はセクハラを受けたことがあると回答した202人

受けた被害のうち、「結婚しないの?」「子ども生まないの?」などの自己決定権への質問、容姿や年齢、身体的な特徴についてに関するもの、不必要な身体的接触がワースト3で、回答者の約半数が経験している。

また、命に関わる可能性も考えられるストーカー行為被害も回答者全体で13人、ホテルに誘われ性的関係を強要されるも回答者全体で34人と犯罪行為の被害もあることがわかった。

順位	被害の内容	人	%
1	「結婚しないの?」「子ども生まないの?」など自己決定権に関わる質問をされた	102	50.5
2	容姿や年齢、身体的な特徴について聞かれた、からかわれた	100	49.5
2	必要もないのに身体的接触(キス、抱きつく、肩もみ、胸をさわる等)をされた	100	49.5
4	仕事と関係のない食事やデートなどへの執拗な誘いを受けた	75	37.1
5	性的な経験や性生活について質問されたり、無理に聞かされたりした	57	28.2

受けた被害について今でも苦しんだり、悩んだりしますか



受けた被害について今でも苦しんだり、悩んだすることが「ある」と回答した人は、女性のみだと67.6%、男性のみだと64.3%となった。回答者全体では67.6%となり、今でも苦しんだり悩んだりしていることがわかる。(母数はセクハラを受けたことがあると回答した202人)